

# 第4回 Regional Policy Forum について

せきぐち ともかず  
研究員 関口 智和

## 1 はじめに

2010年5月13日、シンガポールで第4回 IFRS Regional Policy Forum (以下「RPF」又は「フォーラム」という。)が開催された。RPFは、会計基準と銀行監督規制や法人税法をはじめとした規制との関係について、アジア・オセアニア地域における会計基準設定主体と規制当局を含む関係者が一堂に会して、議論することを目的とするものであり、2005年に発足以降、1年に1回、各国の持ち回りで開催されている。以下、5月に開催されたフォーラムにおける議論について、紹介させていただく。

## 2 フォーラムの概要

今回のフォーラムは、シンガポール会計基準委員会(ASC)の主催により、「グローバルな金融危機を超えて—財務報告を利害関係者のニーズにより合致させるためには—」との題で、アジア・オセアニア地域12か国から会計基準設定主体及び規制当局等が参加し、100名を超える者が参加して行われた(主な議題については、188頁の(表)を参照)。国際会計基準審議会(IASB)からは Tweedie 議長、山田理事、

Upton 国際関連ディレクターが参加した他、国際財務報告基準財団(IFRS財団)からは、Glauber トラスティ副議長(米国)、Lucy トラスティ(オーストラリア)、Pai トラスティ(インド)、島崎トラスティが参加した。企業会計基準委員会(ASBJ)からは西川委員長及び当方が参加した。なお、13日のForumに先立ち、12日の午後にワークショップが行われ、参加者によるプレゼンテーションや意見交換が行われた。

フォーラムでは、冒頭、開催国であるシンガポールの首相室 Lim Hwee Hua 大臣等からスピーチがあった後、Tweedie 議長から会計基準のコンバージェンスに向けたIASBによる取組みについて説明がされた。また、米国出身の Glauber トラスティから、米国における最近の動向等について説明がされた他、IMFの担当者より、中央銀行や規制当局に対する財務報告の有用性について説明がされた。

その後、会計基準と銀行監督規制や税法との関係等について説明がされた上で、財務報告の表示の在り方、国際財務報告基準(IFRS)の採用(adooption)と収斂(convergence)に関して、それぞれの意味するところについて、パネル・ディスカッションが行われた。日本からは、ASBJ 西川委員長が「財務報告の表示について」のセッションで、金融庁 長岡国際会計調整室

長が「IFRSの採用と収斂について」のセッションでパネリストとしてパネル・ディスカッションに加わった他、IASBの山田理事が「IFRSの採用と収斂」のセッションで司会役を務めた。

最後に、IASC財団トラスティーの活動について近況の説明がされた他、フォーラム参加者とIASC財団トラスティー、IASB理事との間で質疑応答・意見交換が行われた。意見交換において、アジア・オセアニア地域においてIFRSの採用やコンバージェンスに向けて取組みを進めるに当たって、同地域内の諸国で連携する等の上で、IASBに意見発信していくことの重要性等が確認された。

## I Communiqué

フォーラム閉会に当たって、今回開催したことの成果について、Communiquéを公表する旨が合意された。Communiquéには、主に、以下の旨が記載されている。

- 参加者は、高品質でグローバルな一組の会計基準であるIFRSへのコンバージェンス又はその適用に向けたアジア・オセアニア地域における取組みを再確認した。
- 参加者は、IFRSがアジア・オセアニア地域

の経済実態及び商慣習を適切に反映するためには、同地域の利害関係者がIASBの基準開発により積極的に関与していくことが重要である旨を再確認した。

- 参加者は、銀行監督当局や税務当局等の政策当局が国際的な基準設定プロセスにおいて、IASBとより活発な対話を行うことが必要である旨を合意した。
- 参加者は、会計基準の解釈及び適用を統合的なものとするため、IFRSの基準設定プロセスと国際的な監査基準設定プロセスをより緊密に連携させることが必要である旨を合意した。
- 参加者は、基準をより適切に理解する等の観点から、作成者、監査人、税務当局等の主要な利害関係者にIFRSの変更点に関する理解を得るための取組みを提案した。
- アジア・オセアニア地域では、会計基準設定主体のグループとしてアジア・オセアニア基準設定主体グループ(AOSSG)が存在するが、RPFは、中央銀行や規制当局等と一同に会することで、より戦略的な事項について議論することを目的としている。

次回会合は、2011年中にインドネシアで開催される予定である。

(表) 2010年5月 IFRS Regional Policy Forum 主な議題

時 間	主な議題
8:30-8:45	開会挨拶：Euleen Goh (シンガポール会計基準設定主体 委員長)
8:45-9:00	基調講演：Lim Hwee Hua (首相室大臣)
9:00-9:30	「グローバルなコンバージェンス及び IASB における課題」 スピーカー：David Tweedie (IASB 議長)
9:30-10:15	「グローバルな金融危機と会計基準のコンバージェンス」 スピーカー：Robert Glauber (IFRS 財団トラスティー)
10:45-11:30	「中央銀行及び銀行監督当局への財務報告の有用性他」 スピーカー：Nancy Rawling (IMF 財務部門上級専門官)
11:30-12:30	「財務報告の表示について (財務諸表作成者の見解)」 スピーカー：Chung Sok Hui (DBS 銀行 CFO) 「財務諸表の表示について (税務当局の見解)」 スピーカー：Judy Morris (オーストラリア国税庁 長官補佐)
13:45-14:45	パネル・ディスカッション「財務報告の表示について」 パネリスト：Euleen Goh (シンガポール会計基準設定主体 議長) Jim Murphy (オーストラリア財務省 審議官) David Tweedie (IASB 議長) 西川郁生 (ASBJ 委員長) Mohammad Faiz Azmi (マレーシア会計基準設定主体 委員長) Paula Eastwood (PwC シンガポール 法人税部門長) John Palmer (シンガポール 企業課長)
14:45-15:45	パネル・ディスカッション「IFRS の採用と収斂について」 パネリスト：山田辰己 (IASB 理事) Lu Jianqiao (中国財政部 部長) Rosita Uli Sinaga (インドネシア会計基準設定主体 委員長) 長岡 隆 (金融庁 国際会計調整室長) Kevin Simpkins (ニュージーランド 会計基準レビュー委員会 委員長)
16:15-16:45	「IFRS 財団の活動について」 スピーカー：IFRS 財団 Jeffery Lucy トラスティー
16:45-17:45	IFRS 財団トラスティー及び IASB 理事による Forum 参加者との間の意見交換
17:45-18:00	Communiquéの合意、次回開催国の決定、閉会